

問題リスト／各話の解説

タイトル	解説
第1話 (全10枚) 「なぜかな」	身近な事柄について、その理由や目的を考える文章です。「食物」「社会規範」「生物」「身体」「社会知識」の領域から、2つずつテーマが選ばれています。「～のは、なぜ？」という問いかけに対して、「それは～ため」と自答する形式で書かれています。理由の問いと応答の表現に触れる目的があります。
第2話 (全10枚) 「ケンくんとクミさん」	ケン君とクミさんという、二人の子どもの会話を読んで問いに答える問題です。それぞれのことは吹き出しで表現されており、マンガ表現の理解が必要です。また、省略の多い会話のことは、文脈から類推して読み取る力が求められます。
第3話 (全10枚) 「難しい漢字を読もう」	難読漢字単語の表記の由来の解説です。10の単語は、由来の説明が、比較的解り易いものを選んであります。各問題2問目の由来の問いは、「それは、□が～からです」という本文から、解答を抜き出します。後半は「ちなみに」ということばで始まり、各単語のトピックスを、一つずつあげています。
第4話 (全10枚) 「なつみさんの 予定表」	なつみさんという女の子の予定表を読み取る問題です。ストーリーはありませんが、予定を追って行くと、なつみさんの日常生活が、少しだけわかるようになっていきます。問いから読んで、必要な部分だけを抜き出すスキニングの課題ですが、表の読み方の理解が必要です。
第5話 (全10枚) 「絵と文から考えよう」	状況絵と、説明文から、問いに答える問題です。文章の理解だけでなく、絵を読み取る力が求められます。10題とも、登場する二者間に心理的なズレや葛藤があり、それぞれの心情を捉える必要があります。最後は自由にセリフを作る問題で、ピントのずれた発言になっていないかがポイントです。
第6話 (全10枚) 「本の紹介」	名作図書の紹介です。最初に、「この本は～という人が書きました」という文で著者が示され、つぎに、物語の粗筋が、ごく簡単に紹介されています。最後は、「手に汗にぎる」「心打たれる」などの常套句でまとめられており、ストーリー紹介や感想の表現方法に触れる目的があります。
第7話 (全10枚) 「記念日の話」	日本の記念日の由来の解説です。由来の問いに対しては、「〇年の〇月〇日に、～ました。それを記念したものだそうです」という文から、解答を抜き出す形になっており、それという代名詞の指すものの理解が求められます。後半は、第3話と同様に、各テーマに関連したトピックスが紹介されています。
第8話 (全10枚) 「おしゃべりから 考えよう」	母と子どもの会話を読んで、論理的な判断をする問題です。会話後に、子どもがとる行動が、母親の言いつけに従っているか否かを判断します。非常に難しい課題で、「～をしたら」「しようがない」などの文法や単語の理解とともに、指示と行動の合致を、憶測ではなく客観的に判断する態度が求められます。各問とも、4選択肢中2つが×になっています。 ※第8話のみ解説に解答を記載しています。
第9話 (全10枚) 「とも子さんの日記」	とも子さんという小学4年生の女の子の日記です。「つばさ君のにつき」の高学年版として製作しました。年齢や生活環境の近い子どもの日記を読むことは、読み手が自身の日常をどのように表現するかを知る大切な機会だと思います。とも子さんの日々の心の様子にも気づいてもらえればと思います。
第10話 (全10枚) 「入れ物の科学」	「入れ物」をテーマにした文章です。「科学」という大仰なタイトルをつけたのは、どんな事物にも、種類や役割、構造、歴史といった体系があることを子どもに伝えたかったからです。何かに注目し、それを分析する、という思考活動を通して、新しい考えが生まれる楽しさを、知ってもらえればと思います。